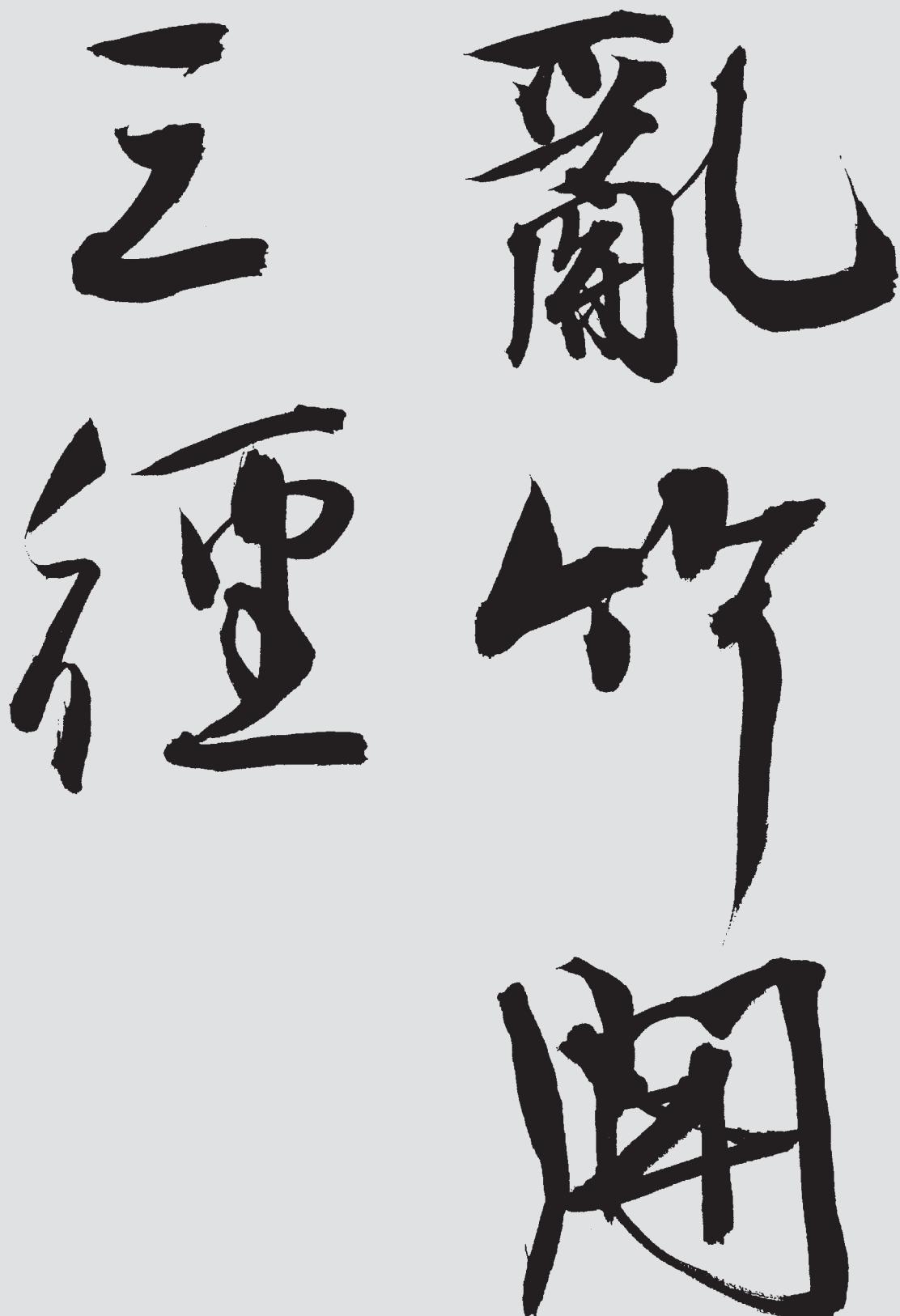


# 参考手本

※これは規定課題ではありません。



乱竹  
三徑  
を開く

高木聖雨先生

# 参考手本

※これは規定課題ではありません。

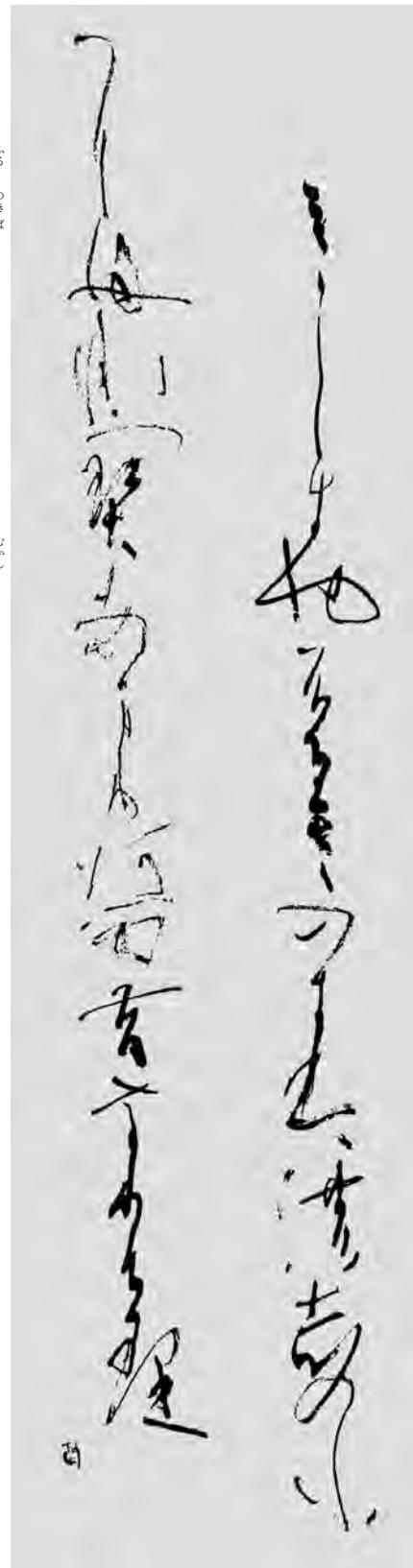


# 条幅かな

# 条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）  
B部（四段～準三段）



集字聖教序（東晋・王羲之）

惡而不剪開法網之綱紀弘六度之正教拯

浮 乘 清 鄉 先 生



道因法師碑（唐・歐陽 通）

江粹典源流畢究奧隅咸踐法鏡攸懸信花彌

江粹典源流畢究奧隅咸  
踐法鏡攸懸信花彌

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（9月10日締切）

## 半紙規定(二)

地利之

※清書の提出は「初段以上楷書か隸書」「一級以下楷書

玄闕並地列  
九成宮醴泉銘(唐・歐陽詢)

並び動く。而して県民

玄闕並地列

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

## 半紙規定(一)

東漢

曹全碑(漢・作者不詳)

並動而縣民

並動而縣民

並動而縣民

# 条幅参考手本

鏡湖水如月 耶溪女如雪 新  
粧蕩新波 光景兩奇絕

長 沢 豊 雲 先 生

粧蕩新波 光景兩奇絕

鏡湖水如月 耶溪女如雪 新粧蕩新波 光景兩奇絕

鏡湖水月の如し 耶溪女雪の如し 新粧新波に蕩き 光景両つながら奇絶

鈴木翡翠先生

楓落早鴻過 洞庭無限波 相望終不見 只是白雲多  
楓落ち早鴻過ぎ 洞庭限り無き波 相望んで終に見ず 只是れ白雲のみ多し  
望終不見只是白雲多當立

楓落早鴻過 洞庭無限波 相望終不見 只是白雲多  
楓落ち早鴻過ぎ 洞庭限り無き波 相望んで終に見ず 只是れ白雲のみ多し

# 条幅参考手本

面影は身をも離れず山桜心のかぎりとめて来しかど「光源氏」（若紫）

面影は身をも離れず山桜心のかぎりとめて來しかど  
かぎりとめて來しといど若紫より高橋ひと

不向東山久 薔薇幾度花 白雲還自散 明月落誰家  
東山に向かはざること久しう 薔薇幾度か花さく 白雲還自ら散じ 明月誰が家にか落つ

大井岳陵先生

不向東山久 薔薇幾度花  
白雲還自散 明月落誰家  
雲還自散  
明月落誰家  
度華由

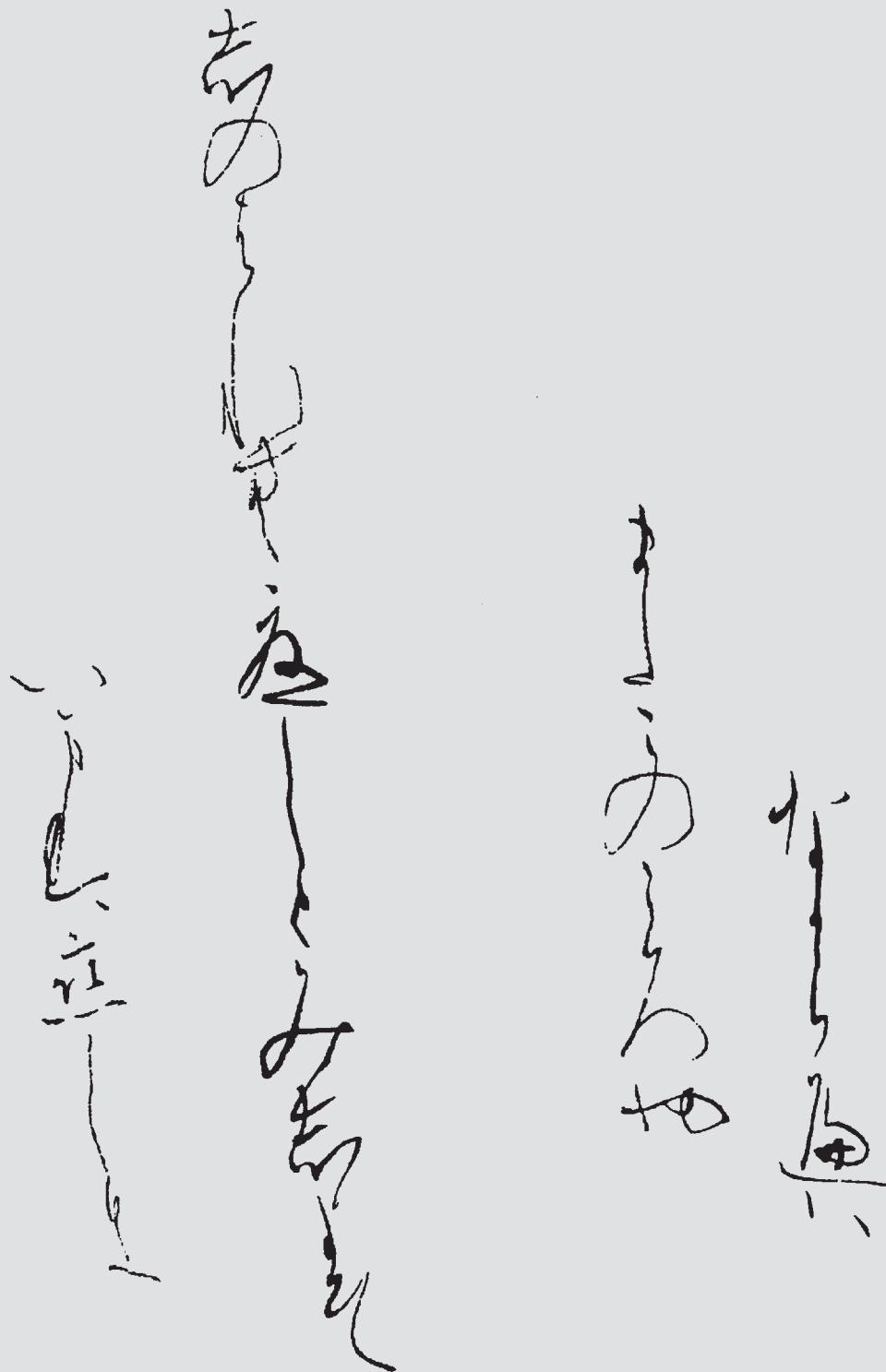
石田輝仙先生

# 半紙かな（初段以上）

ながらへばまたこのごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今は恋しき  
可遍多志者無憂見世ぞ今は恋しき（藤原清輔）

支部名 段 姓 号  
(鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由



浮乘清郷先生

(9月10日締切)

# 半紙かな(1級～8級)

しづ  
可  
かさや湖水の底の雲のみね  
農曾能九  
いすい  
そこのくも  
みね  
(小林一茶)

□

の  
一  
茶  
を

小  
林  
智  
峰  
先  
生

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由。

(9月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

残暑ほん舞申しあげます

暑さも峰を越え家には微かに

秋の氣配を感じますお元氣でよいか

田舎より名産の梨が届きましたので

本日てみ便にて送り附ました

支部

秋

姫

号

大越三宗先生

〈書風任意〉 残暑御見舞…越え朝夕…秋…感…お元氣…梨…本日別便…致しました

(9月10日締切)

## 実用文（二段以下）

〈書風任意〉

朝夕の日差しは少しずつ和らぎ  
お盆が明けると秋の氣配が濃く  
なってきます。吹く風・草木の色の  
変化を感じてみましょう。

支部 段級 姓号

石田輝仙先生

(9月10日締切)

## 細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より

P42

逆  
船  
埠  
所  
停  
舶  
牧  
牛  
逆  
船  
埠  
所  
停  
舶  
牧  
牛  
逆  
船  
埠  
所  
停  
舶  
牧  
牛  
逆  
船  
埠  
所  
停  
舶  
牧  
牛

支部

段級

姓

号

名前は必ず楷書  
17cm (よこ) × 24cm (たて)

17cm (よこ) × 24cm (たて)

**埠ふ遡さく**  
**所しょ船せん**  
船が上流へさかのぼる。  
船つき場。

※一級～八級は草書まで。  
初段以上は隸書まで。

(9月10日締切)

## 硬筆（初段以上）

真夏の日照り 涼みの時、やあ／＼

降つて／＼雨。萎れかけていた細

の植物、花壇の花は 生氣を取／＼  
戻す。聖山の草木、街路樹も雨を  
吸つて 青々とよみがえる。

支教名

あ

姓弓

青柳江雲先生

日照り続き…畑の作物、…野山の草木、…

(9月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

錦鯉は泳ぐ宝石と言われ、海外や  
他産地でも脚光を浴びてゐる。

本院定型用紙・たて半分に書く

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

錦鯉は泳ぐ宝石と言われ、海外や  
他産地でも脚光を浴びてゐる。

若月久美子先生

若月久美子先生

(9月10日締切)

中2用



(9月10日練習)

中3用



大越三宗先生

小6用

支部名

段級

名

前

日 本 横

渡 邊 南 嶽 先 生

中1用

支部名

段級

名

前

日 本 横

渡 邊 南 嶽 先 生

(9月10日締切)

小4用



(9月10日締切)

小5用



大越三宗先生

小2用

支部名

段級

名

前

鈴木翡翠先生

名

前

支部名

段級

小3用

支部名

段級

名

前

鈴木翡翠先生

(9月10日締切)

中 1 中 2 中 3

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

金 鈴 美 惠 先 生

中1～中3

青 柳 江 雲

先生

準備は間に合わない。  
必要にせられ、急ぎ。

開発が進むに従い、  
然るが破壊されていく。

書家と多くも有名な  
良寛は、禅僧、歌人。

小1・幼年

きこえてます。

小1～小3

小2

れています。

田辺翠鶴先生

小3

木がけになると、風がほうとうです。

先生

小4

大きく、とび回ります。

小4～小6

小5

の夜に鳴く虫の声に、終わりを感じます。

齊藤翡翠先生

小6

日曜の朝、食事を作ります。

先生

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

花火大会

夏の夜に

主幹 菅野翠濤

読み = 路の葉にはんと穴あかされると虫害のために路の葉に穴があくのである。季語 = 「暑さ」虫害のために路の葉に穴があくのである。「ほん」と「の」語がきいていふ。

(9月10日締切)

## 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

ひらひらと穴あく  
る葉

ひらひらの葉

船久保栄苑先生

# 平成29年後期昇段試験要項

## 本年の講習会はありません

左記により平成29年後期昇段試験を施行いたします。

\*作品締切

・漢字 仮名部

9月11日(月)

・実用文 細字 硬筆部

9月25日(月)

### ◎漢字部 臨書課題

#### ◆A部 六段・五段に応試 (用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ)

楷 書 颜真卿・顏勤礼碑

行草書 懐素・自叙帖

隸 書 礼器碑

#### ◆B部 四段・三段に応試 (用紙・謙慎サイズ40cm×160cm)

楷 書 褚遂良・雁塔聖教序

行草書 蘇軾・黃州寒食詩卷

隸 書 曹全碑

#### ◆C部 二段に応試 (用紙・半切)

楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘

行草書 王羲之・集字聖教序

隸 書 曹全碑

#### ◆D部 初段に応試 (用紙・半切)

楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘

行 書 王羲之・蘭亭序

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

### ◎かな部

#### ◆A部 六段・五段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫

逢坂は人のわかれの道なればゆふつけ鶏のなかぬ夜もなし (藤原光俊)

(ロ)全懐紙「たて」に揮毫

いかにせむ涙の袖に海はあれどおなじ渚による船もなし (藤原光俊)

(ハ)古典臨書 (揮毫部分は任意)

「小島切」を半紙半分相当「たて」に書く

#### ◆B部 四段・三段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫

うきながらさすがに物のかなしきはいまは限りと思ふなりけり (清原元輔)

(ロ)半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

朝顔に釣瓶とられてもらひ水 (加賀千代尼)

(ハ)古典臨書 (揮毫部分は任意)

「関戸本古今集」7~8行相当「たて」に書く

#### ◆C部 二段・初段に応試

(イ)半切「たて」に揮毫

おのが音につらき別れのありとだに思ひもしらで鳥の鳴くらむ (藻壁門院少将)

(ロ)古典臨書 (揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4~5行相当「たて」に書く

(ハ)古典臨書 (揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4~5行相当「たて」に書く

P • 29 参照

P • 30 参照

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

梅雨も明け本格的な炎暑の季節となりました。唐突ですが妙高の旅に誘いたいと思うのですが、都合は如何ですか。折返しの連絡を楽しみにしています。

◆B部（二段以下に応試）

例年の如く、私の郷里で採れた枝豆を送ります。天候に恵まれ最高の出来だそうです。宅急便で送りますので、ご賞味下さい。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

孤帆遠影碧空盡 惟見長江天際流（李白詩より）

（孤帆の 遠影 碧空に尽き 惟だ見る 長江の 天際に流るるを）

『遠くにぽつんと 見える舟の帆が、やがて青空に吸いこまれて消え、あとはただ、揚子江が空のはてまで流れるのを見るばかり。』

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

手紙は小説、新聞などと違い、自分の感情や意思を特定の相手に伝える為のものです。正確に、充分に理解してもらえる様に、簡潔にまとめる事が大切です。

◆B部 四段～準二段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

私は今、赤倉におります。気が向きましたら遊びにお出で下さい。御宿の事は心配ご無用ですので。食欲が大変進みますよ。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

毎日厳しい暑さが続く様です。ご自愛の程お祈り致します。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

## ◎昇段試験 実物大手本料・応試料

科目	種別	六～準五段を受験	四～準三段を受験	二～準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000		3,000 (2書体)
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

- ※合格者には段級証明書を発行します。
- ※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。
- ※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。
- ※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれに鉛筆で記入）
- ※バーコード出品券にも現在の段級を記入し一枚だけ貼り付けて下さい。

# 後期昇段試験課題（六段・五段）

楷書 颜勤礼碑（唐・颜真卿）

中国法書選42 P30～31

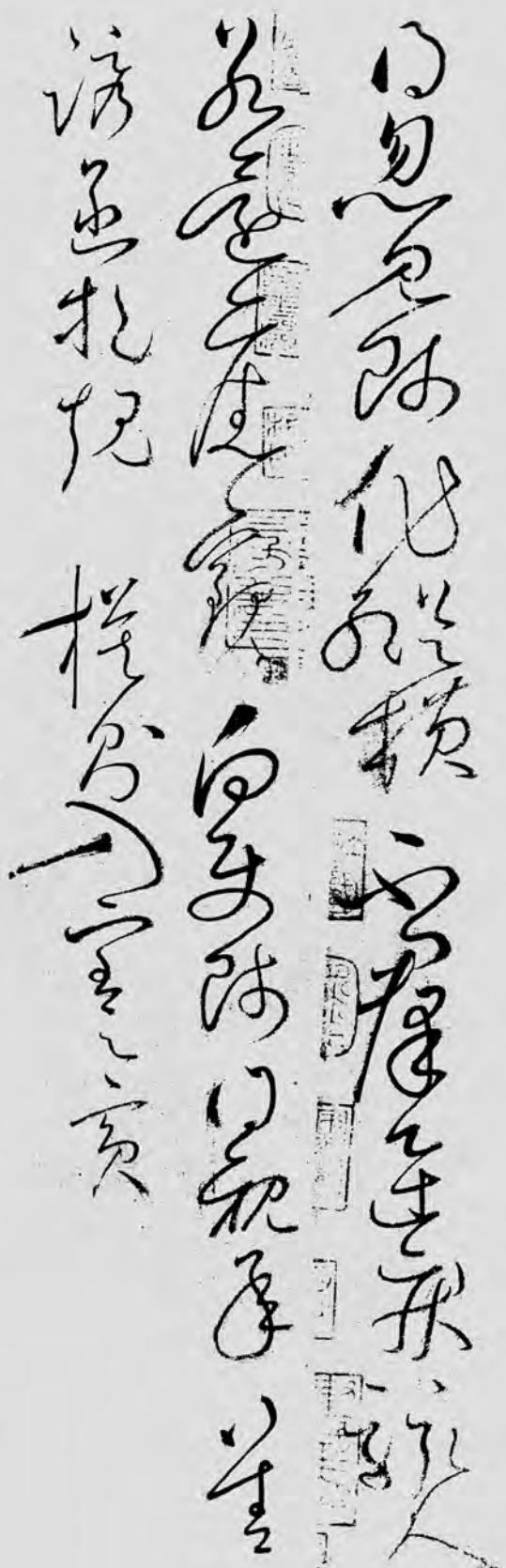
郎相時齊名監同時為崇賢弘  
文館學士禮部為天冊府學士  
弟太子通事舍人育德

郎相時齊名監與同時為崇賢弘文館學士禮部為天冊府學士弟太子通事舍人育德（33字）

草書 自叙帖（唐 懷素）

中国法書選43 P20～21

聯落 $\frac{1}{4}$ 継に揮毫



得忽見師作縱橫不羣迅疾駭人若還舊觀向使師得親承善誘函挹規模則入室之賓（34字）

聯落 $\frac{1}{4}$ 継に揮毫

# 後期昇段試験課題

(四段・三段)

(六段・五段)

隸書 礼器碑（後漢・作者不詳）

中国法書選5 P125 14

邊杖禁臺脩市宅廟更作二輿朝車威宣抒玄汙以注水流法舊不煩備而不奢上合

籩柂禁壺脩飾宅廟更作二輿朝車威宣抒玄汙以注水流法舊不煩備而不奢上合（33字）

聯落 $\frac{1}{4}$ 継に揮毫

楷書 雁塔聖教序（唐・褚遂良）

中国法書選34 P16・17

仙露明珠詎能方其朗潤故以智通無累神測未形超  
智通無累神測未形超

仙露明珠詎能方其朗潤故以智通無累神測未形超（21字）

謙慎サイズに揮毫

# 後期昇段試験課題（四段・三段）

行草書 黃州寒食詩卷（宋・蘇軾）

中国法書選46 P2

自 我 来 黃 州 已 過 三 寒 食 年  
欲 惜 春、 又 不 容。 將 今 年 又 苦 雨

自我來黃州已過三寒食年々欲惜春々去不容惜今年又苦雨（25字）

隸書 曹全碑（後漢・作者不詳）

中国法書選8 P23

謙慎サイズに揮毫

姓 純 負 及 者 如 雲 故 治 廬 屋 市  
肆 列 陳 風 雨 時 节 盛 獻

姓繩負反者如雲戢治廬屋市肆列陳風雨時節歲獲（21字）

謙慎サイズに揮毫

## 後期昇段試験課題（二段）

楷書 九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

中国法書選31 P18

我享其功者也然昔之池

沼咸引谷澗宮城

我享其功者也然昔之池沼咸引谷澗宮城（17字）

行草書 集字聖教序（東晉・王羲之）

中国法書選16 P10

半切に揮毫

悲正法之陵遲栖玄門慨深文之訛謬思欲

恨深文之訛謬思欲

悲正法之陵遲栖玄門慨深文之訛謬思欲（18字）

半切に揮毫

# 後期昇段試験課題

(初 段)

四方遼乎立手撫臨億  
北始人武功壹海

四方逮乎立年撫臨億兆始以武功壹海（16字）

半切に揮毫

楷書 九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

中国法書選31 P10

(二 段)

己郡朐延今張掖居延都尉  
曾祖父述孝廉謁者

巴郡朐忍令張掖居延都尉曾祖父述孝廉謁者（19字）

半切に揮毫

隸書 曹全碑（後漢）

中国法書選8 P6

## ※夏期講習会中止のご案内

会場の改装のため、駐車場が使用できなくなりました。やむなく今年は中止と致します。

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽山陰（18字）



半切に揮毫

### □年間入賞者表彰

月例作品で多数の入賞をされた方を表彰致します。

◆月例競書で年間に  
一般 20点以上 学生 15点以上

入賞されている方は明細を添えて申請して下さい。

#### 【点数計算方法】

平成28年8月号から  
平成29年7月号まで  
優秀賞（賞）1回：2点  
として計算して下さい。

◆期 間		〔明細記入例〕					
⑤	④	③	②	①	△月号	半紙規定三段	○月号
6月号	5月号	4月号			細字三段	細字三段	
					細字三段	實用文準四段	
					硬筆三級	※※賞※※	
					1点	1点	1点
					2点	2点	1点
					1点	1点	1点
◆締 切 8月15日		計○○点					
平成28年8月号から平成29年7月号までの1年間です。							

# 第72回 新潟県展

(本院関係報告分) 新聞発表順

《今年度 無鑑査出品》 朝平 霞山 大越 三宗 青柳 江雲

《奨励賞》樋口 弘堂 森 亜希子

## 《入選》

板垣	厲跳	笠原	公美	永井	碧鮮	渡辺	美珠	大野	珠映
片桐	香耀	渡辺	景雲	渡辺	久美	石山	紀子	山本	香月
堤	美倅	遠藤美代子	隅木	越舟	若月久美子	牧野加奈子	福田	功堂	
中村	雅秀	阿部和歌子	渡辺	小逕	田辺	茂			
本間	紅涛	坂牧	湖園	金沢久美子	金井万沙枝				
和田	菖麗	広瀬	白洋	滝沢	俊山	細野	江華	平沢	澄子
岩崎	恵華	鈴木	玲鳳	大橋	香汀	西方	楊恵	早坂	彩華
下村	紫雲	田中	奎堂	田中	瑞香	細井	翠柳	佐藤	桑処
斎藤	翡翠	熊倉	華泉	宮腰	紫月	田宮	恵子	田辺	紅園
渡邊	南嶂	堀内	紅蓉	野口	紫仙	五十嵐	雪華	横山	白水
小野	翠湖	古田	葉子	小柳	琅泉	石沢	圭竹		

## 審査評

関東と関西の両方の書風が入る新潟らしく、さまざまな流派や会派の作品があった。違う流派同士で技術を高めており、日本書道の縮図を見るようだ。全国的にもレベルは高い。

手本をそのまま書く傾向から脱却し、新しい作風を目指そうとする雰囲気を強く感じた。一方で字を傾けたり、行を曲げたりした作品が見受けられた。書道は伝統文化であり、古典を徹底的に勉強して個性を出すのがベストなやり方。行き過ぎはいけない。誤字や脱字など基本的なことで評価を下げたケースがあったことも残念だった。

県展賞は線の1本1本にも気を抜いた所がない。小さな字に緊張感があふれ、さらに自分の個性を出している秀作と言える。

日展会員

高木聖雨氏

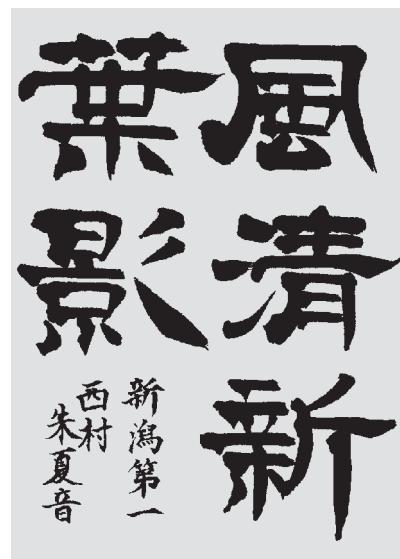
東洋大学名誉教授

三宅相舟氏

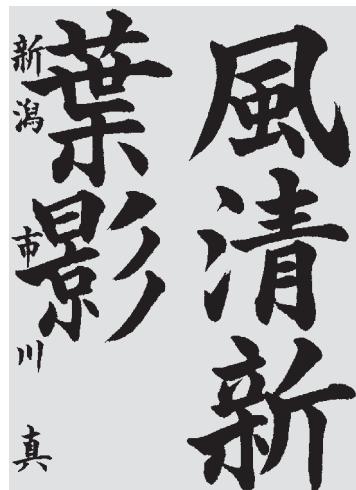
## 学生書道コンクール優秀作品

< 高校部 >

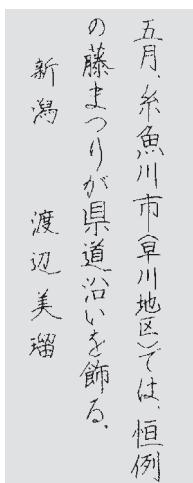
『新潟県知事賞』



西村朱夏音



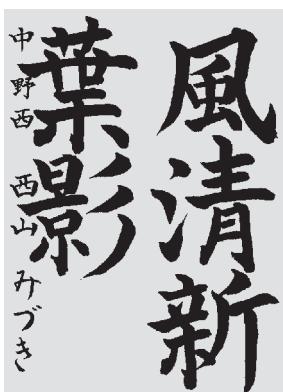
市川 真



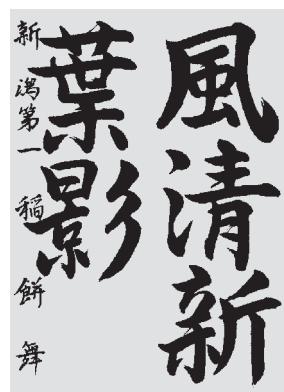
渡辺 美瑠

《毛筆準特選》

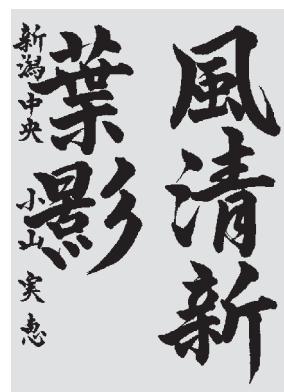
《毛筆特選》



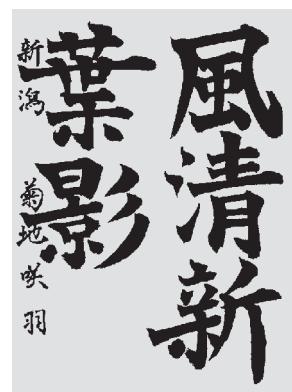
西山みづき



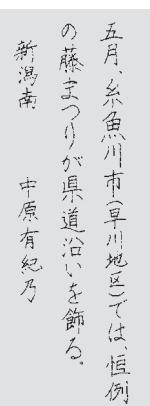
稻餅 舞



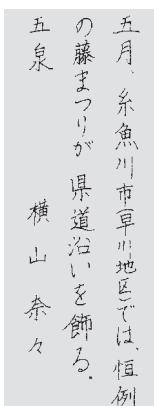
小山 実恵



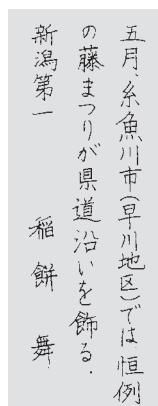
菊地 咲羽



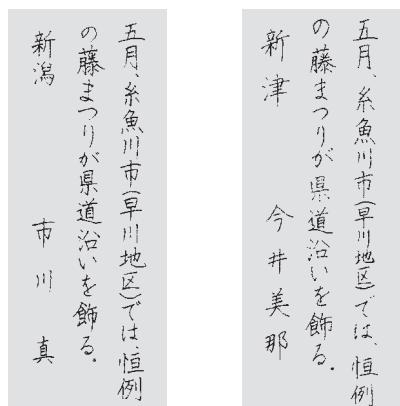
中原有紀乃



横山 奈々



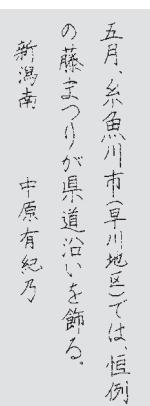
稻餅 舞



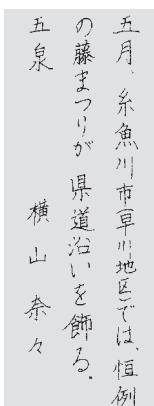
市川 真

『硬筆特選』

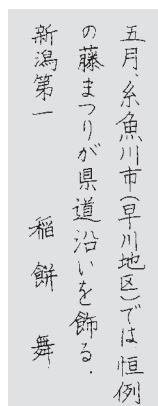
《硬筆準特選》



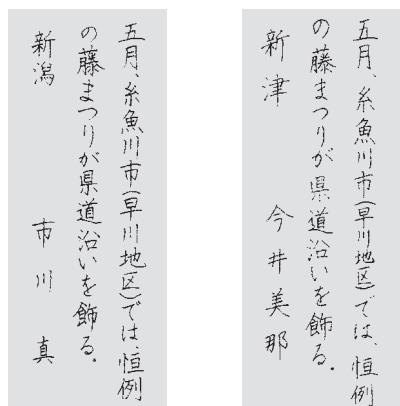
中原有紀乃



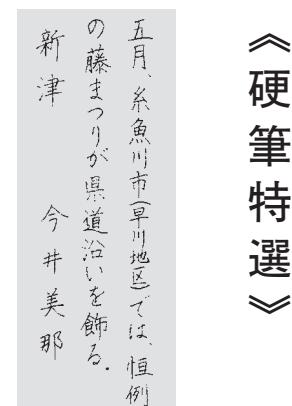
横山 奈々



稻餅 舞



市川 真



今井 美那

学生書道コンクール

『新潟県知事賞』



稻餅 弥美



長澤 真佳

『新潟市長賞』



長谷川妃菜

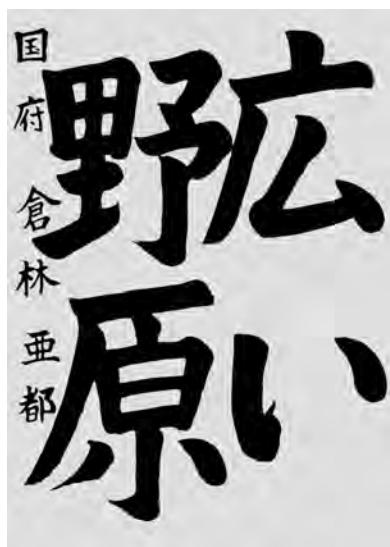


小松 敬斗



薄田 育美

『新潟日報社賞』



倉林 亜都



小関 七海



廣沢 真衣

## 学生書道コンクール

《新潟県  
美術家連盟賞》



長谷川愛優



横山 楓

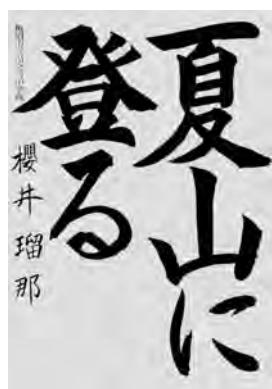


中山 真緒

《新潟県  
書道協会賞》



川瀬 広夢



櫻井 瑞那



小林 麗奈

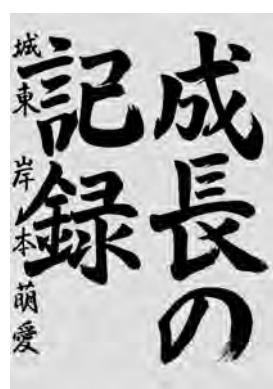
《新潟市  
美術協会賞》



有波 咲良

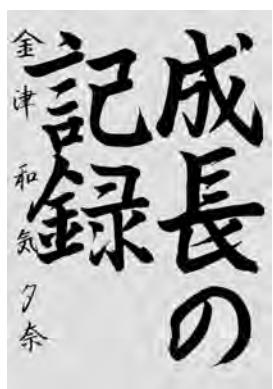


栗原 沙樹



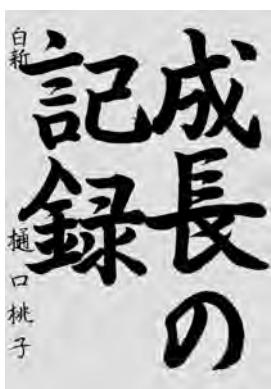
岸本 萌愛

《UX賞》



和氣 夕奈

《TeNY賞》



樋口 桃子

《NST賞》



本多 令旺

《BSN賞》



江塚 桜子

# 学生書道コンクール

《UX賞》

分水 紙の資源である森林は、  
地球上にとって宝です。

廣瀬 葵

長野東部 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

佐藤あいり

《TeNY賞》

新井 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

横山

楓

白新 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

樋口

桃子

《NST賞》

五泉 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

田上

長澤真佳

稻餅 弥美 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

稻餅

弥美

《BSN賞》

赤塚 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

赤塚

安沢真琳

東新 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

東新

薄田 育美

廣瀬 葵 佐藤あいり

横山 楓 樋口 桃子

稻餅 弥美 長澤 真佳

安沢 真琳 薄田 育美

《北日本書芸院賞》

分水 草野山の花

和田 遥花

上山 草野山の花

北村芳乃香

星記録成長の

星 野乃夏

西川記録成長の

遠藤 麻笑

内野 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

内野

清水

颯

城東 短歌と俳句は我が國獨  
特に発展したものだ。

城東

岸本萌愛

坂井輪 野広原い

川端菜々央

伊東 野広原い

伊東 航

田上川崎草野山の花

川崎 凜花

清水 颯

岸本 萌愛

川端菜々央

伊東 航

川崎 凜花

星野 広い野原を思うぞん分  
かけ回してみたい。

星野

眞帆

曾根 田園の風景がみすみす  
しい季節。初夏も近い。

曾根

根津

藍佳

桑名 田園の風景がみすみす  
しい季節。初夏も近い。

桑名

風花

本多 紙の資源である森林は、  
地球上にとって宝です。

本多

令旺

佐野 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

佐野

葵

大潟町 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

大潟町

平原優花

西尾 心暖 他人の批判より、自己  
反省に心を向けよう。

西尾

心暖

星野 真帆

根津 藍佳

桑名 風花

本多 令旺

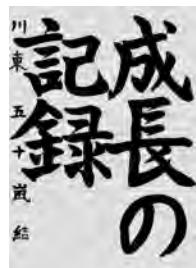
佐野 葵

平原 優花

西尾 心暖

# 学生書道コンクール

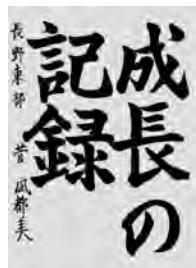
< 特選 >



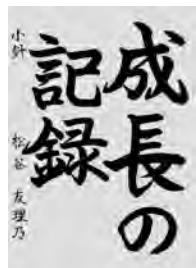
五十嵐 結



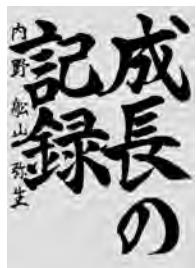
保科 真歩



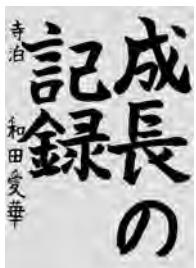
菅 風都美



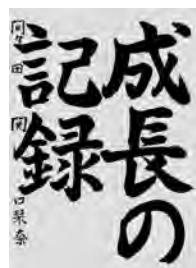
松谷 友理乃



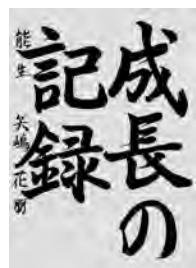
船山 弥生



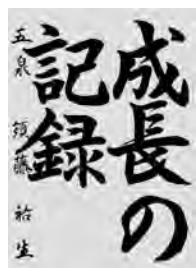
和田 愛華



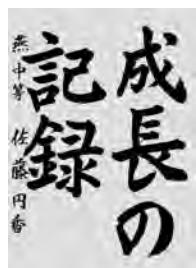
関口 葉奈



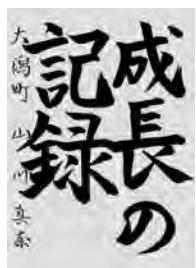
矢嶋 花朋



須藤 祐生



佐藤 円香



山川 真奈



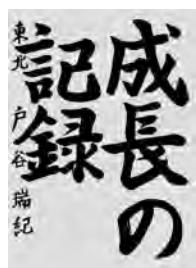
五十嵐 優月



飯島 茉央



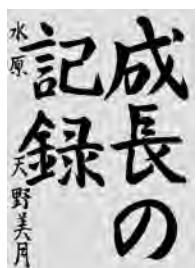
川上 結



戸谷 瑞紀



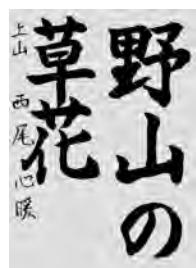
石井 柚羽



天野 美月



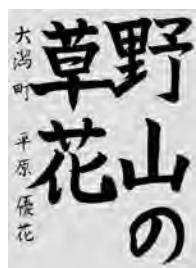
梨 乃



西尾 心暖



尾崎 結稀



平原 優花



今井 涼



長谷川 新菜



水嶌 ゆき



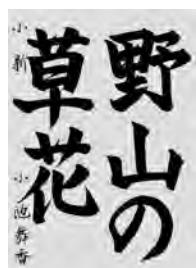
土橋 愛



竹内 夏凜



古俣 愛実



小池 舞香



弦巻 百華



佐藤 雪乃



田代 莉子



阿部 奏会



田中 百合子



池浦 美優



丸山 穂乃花



白石 光

学生書道コンクール

<特選・準特選>



伊藤 誠 崇



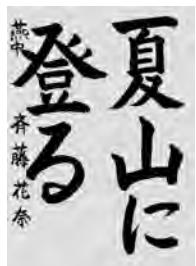
斎藤 将宗



坂上 茉耶



涌井 菜々子



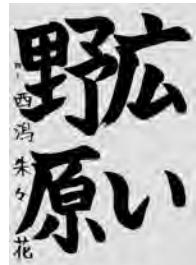
斎藤 花奈



五伝木 羽菜



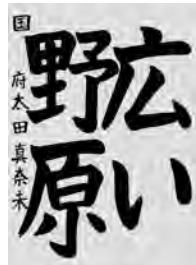
岡村 和憲



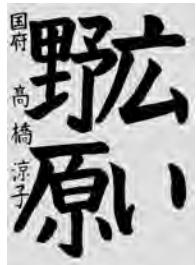
西潟 朱々花



相田 心歩



太田 真奈未



高橋 涼子



庭野 志歩



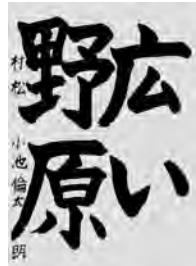
久保田 涼介



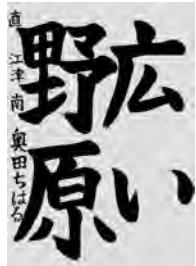
夏見 紗英



井田 夏未



小池 倫太朗



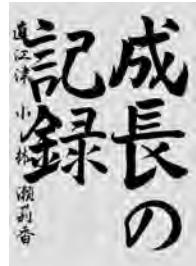
奥田 ちはる



佐藤 珠花



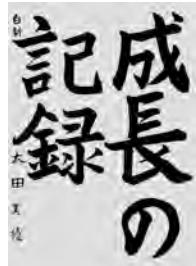
安達 萌々香



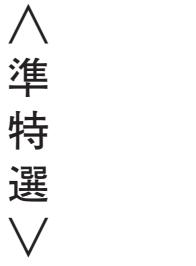
小林 瀬莉香



山田 奈央



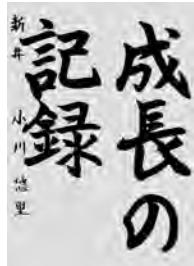
太田 美優



△準特選▽



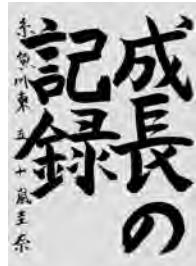
湧井 里花



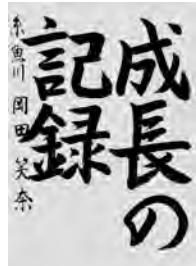
小川 悠里



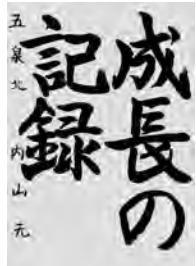
多川 優



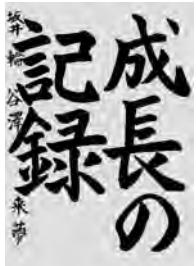
五十嵐 圭奈



岡田 笑奈



内山 元



谷澤 来夢



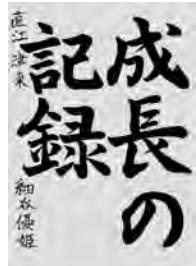
庄司 琉叶



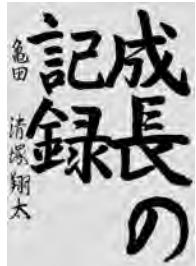
安達 詔子



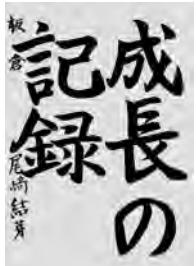
雲村 玲摩



細谷 優姫



清塙 翔太



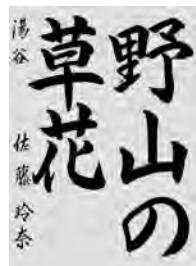
尾崎 結芽

学生書道コンクール

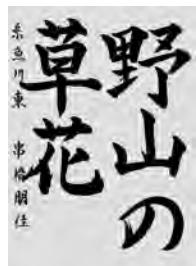
< 準特選 >



立川朋佳



佐藤玲奈



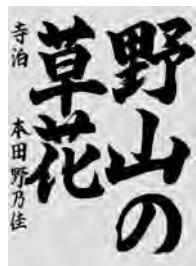
串橋朋佳



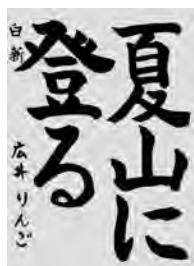
宮坂麻礼



米澤美月



本田野乃佳



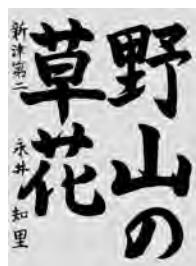
広井りんご



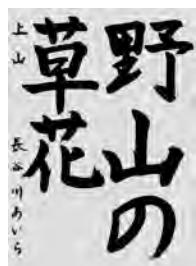
高橋杏



羽場葵泉



永井知里



長谷川あいら



今井美陽



谷川真琴



土屋雄登



遠山修生



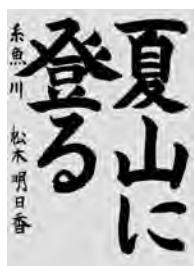
小林優月



桂帆海



鈴木瑠華



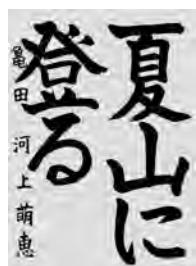
松木明日香



井上龍太郎



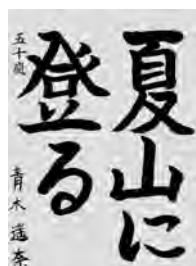
井浦光太



河上萌恵



庄司らら



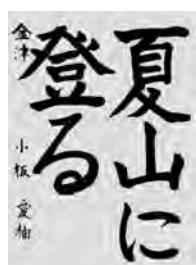
青木遥奈



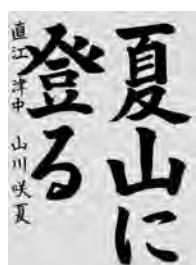
長谷川莉真



鈴木美羽



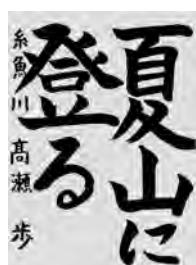
小板愛柚



山川咲夏



原朱里



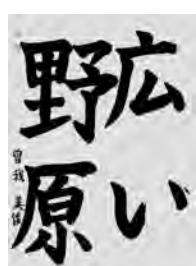
高瀬歩



木嶋謙亮



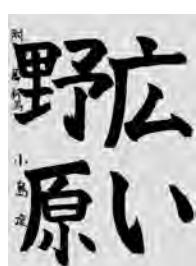
関心愛



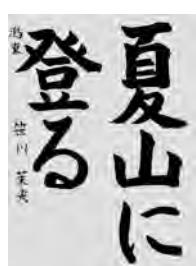
曽我美優



佐藤愛



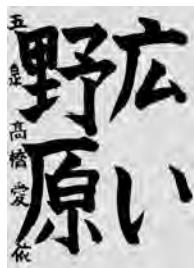
小島凜



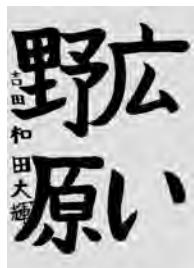
笹川茉央

学生書道コンクール

< 準特選 >



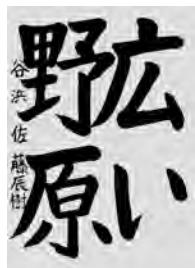
高橋愛依



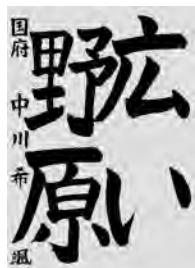
和田大輝



小山瑛子



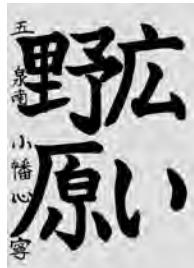
佐藤辰樹



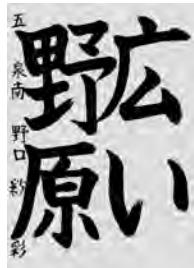
中川希颯



菊地悠樂



小幡心寧



野口紗彩



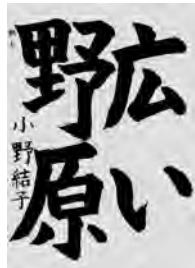
片野明日子



小野澤羽海



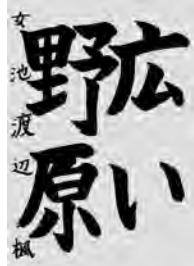
小日向葵



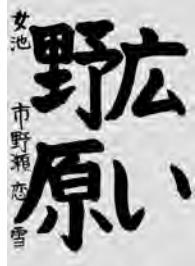
小野結子



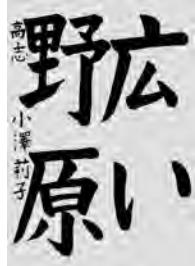
高井咲希



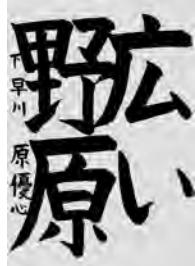
渡辺楓



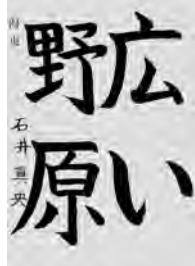
市野瀬恋雪



小澤莉子



原優心



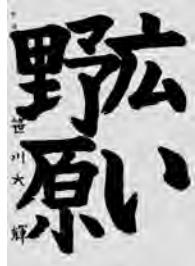
石井真央



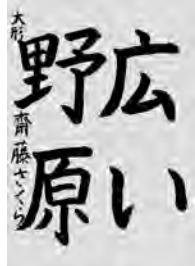
高野光奈



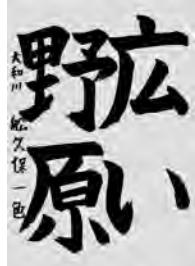
大平和花



笹川大輝



斎藤さくら



舟久保一色



山崎優翔



濱下なづな



小林愛果



増井心愛



内藤加奈



江塚稜



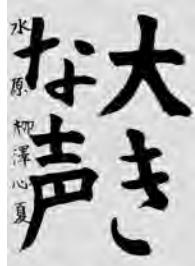
山本乙花



山本あやは



涌井みゆう



柳澤心夏



杉山珠貴



田邊沙奈



鈴木舜矢

# 学生書道コンクール

## 〈特選〉

## 学生書道コンクール

### 〈特選・準特選〉

# 学生書道コンクール

## 〈 準特選 〉

## 第七六四回 一般部競書成績表

一 船詩

「賞」は優秀賞、「※」は入賞、昇進なし  
「級以下」「賞◎○」は一階級昇進

『この成績表の段級はコンピューターが管理する正しい段級です。手元の資料と照合して下さい』

『半紙規定』と『半紙随意』は同一段級です。どちらかが昇級の際は、両方共昇級します。

『半紙規定』と『半紙隨意』は同一段級です。どちらかが昇級の際は、両方共昇級します。

『この成績表の段級はコンピューターが管理する正しい段級です。手元の資料と照合して下さい』

『半紙規定』と『半紙随意』は同一段級です。どちらかが昇級の際は、両方共昇級します。

『半紙規定』と『半紙随意』は同一段級です。どちらかが昇級の際は、両方共昇級します。

『この成績表の段級はコンピューターが管理する正しい段級です。手元の資料と照合して下さい』

絶え間ない研究の精華を放つ 豊彩潤沢の高級液体墨

書芸吳竹

天衣無縫

磨りおろし  
生墨

きらきら光る書道液  
金のきらめき



銀のきらめき

Kuretake

株式会社 吳竹

〒630-8670 奈良市南京終町7-576  
TEL:0742.50.2050 FAX:0742.50.2070



墨磨りの極意は硯板にありました。  
斜硯の採用で  
墨が長時間水に浸らず  
硯にあたるので  
手磨りに近い磨墨液を  
硯面に粗密をつけると  
こんな表現ができます。  
硯面に粗密をつけると  
墨が水に浸からず  
つくることができます。



S S型墨磨機  
漢字用又は  
かな用硯板付

書き味は 固形墨  
使い勝手は  
液体墨

液墨  
高級油煙  
350g

液墨  
350g

液墨  
純黒  
350g

液墨  
えきすみ

固形墨から  
つくりました。

コラーゲン  
たっぷり膠の  
書きやすさ

新発売



特選  
書法一品墨液・濃墨液  
180ml・450ml・2L

本膠製の  
より黒く、  
より軽く、

桐油煙墨液  
特選龍光 500ml  
特選龍光 濃墨 500ml

墨づくり200年  
墨運堂

本社 奈良市六条1-5-35  
0742-52-0310 Fax: 0742-45-6880  
東京店 松戸市小金きよしが丘4-10-2  
047-347-5100  
福岡(営)福岡市博多区博多駅前3-12-3  
092-411-2711  
mail: info@boku-undo.co.jp  
URL http://www.boku-undo.co.jp/

開明書液

小中学生の書写に  
筆運びが軽くできています。



180ml・450ml

墨の華

専門家が愛用する  
液体墨の精華です。



200ml・400ml

朱墨液

優雅な色調筆はこび軽く  
塗覆力も優れています。



360ml・120ml



開明株式会社

開明墨汁  
本社

〒336-0931 さいたま市緑区原山2-22-20

☎ 048-882-1091(代)

FAX 048-882-8363

# 10月10日締切課題予告

かな(初段以上)	半紙規定(初段以上)	かな条幅規定	C部条幅規定	A B部条幅規定
かな(初段以上)	半紙規定(初段以上)	かな条幅規定	C部条幅規定	A B部条幅規定
か な  (猿丸太夫) 秋はかなしき	復 郭 家 等  奥山に紅葉踏み分け 鳴く鹿の声きくときぞ	さしのぼる朝日の光ふかみつつ はやけぶりたつをちこちの浪 (若山牧水)	群有之塗炭啓三藏之祕局是以名無翼而	闡振嶽符論奔濤喻辯昔在昏虐時逢禍亂東
かな(1級以下)	半紙規定(1級以下)			
か な  (向井去來) 弦はらん 秋風や しらきの弓に	充 州 縣 人  秋風や しらきの弓に			

小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
な 小 魚 さ	の 月 夜 見	の 新 味 米	台 大型 風 の	月 初秋 夜 の	山 紅葉 野 の

小学部小筆	中学部かな	小1・幼年	小 2	小 3
虫の声 秋は近し	つたの葉や のこらずうごく 秋の風	ひ も	ン サ イ	ス ガ ラ 玉

小1・幼年硬筆	小2硬筆	小3硬筆	小4硬筆	小5硬筆	小6硬筆	中1硬筆	中2硬筆	中3硬筆
あきは、くだものがい っぱいあります。	とおくで、川の水がひ かっています。	ススキが出はじめた。 もうすっかり秋です。	高原の風に、コスモス の花が、大きくなっています。	海辺では、雲が流れ、 まつ林が風にさわぐ。	学生書道コンクールで、 特選をもらつた。	教科書の本文を読んで 感想文にまとめる。	野鳥が住めるような自 然環境にしたい。	急にさえ渡った空に、 秋の星座が昇り始めた。

# 第72回興展（無鑑查・入賞作品）

無鑑查 青柳江雲

洛陽城外花如錦洛陽城內秋鐘起一夜東風吹滿枝片花飛逐江水江水春流暮轉深江干日暖紫  
生殘參差碧樹破光裏萬葉紅湘愁殺人憶昔郊原全盛日芳菲千里春如織垂翠暉映晚紅妝  
寶勒金羽跨繁陌上遊無爭競樹嬌鶯乳燕紛相度桃李蹊成白日斜愛梨院鎖黃昏暮誰料繁  
華飄轉迷粉蝶紫又翻紅杜鵑血染胭脂裏故蝶魂迷芳草中數急春光空自好三頰零落憑誰做  
花開無盡期委地飄零不復歸別有佳人斂翠眉翻衫袖談雙垂明眸依舊在爭發注此詩江雲書



無鑑查 朝平霞山

獎勵賞 楊口弘堂

嘉慶三年正月某日午夜至鼓樓旁南門街內錢市街二張承元三字號“十八打金一  
下院之令”方錢古幣二枚共重約十錢打金一門其鑄一張力四石太陽聖  
皇之御錢考之謂錢金一門錢市銅口碑云是子錢二兩合大錢  
考觀地隱系物其鑄一張力四石三字號僅存之後唐失銅錢考三十枚錢一門  
錢金一門錢用寺廟上墳兵初具解二張共重約十八打金一門錢二零承元三字號  
大清至嘉慶一日立廣翁言錢金一門錢考之云孤殿奉中廣之龕前有奇香承元三字  
大字有官號而有錢承元三字錢古幣二枚共重約十八打

無鑑查 大越三宗

獎勵賞 森 西希子



郭海詩句丁酉歲夏書於新居金函室之寓人圖  
自然山水亦如我心所欲人情如我所好  
故余之詩多以山水為題一時偶得一二句  
一念而生之更不復追尋亦不知其何所本  
或偶得之亦不知其何所本但知其意在山水  
之間耳蓋予之詩多以山水為題亦不知其何所本  
或偶得之亦不知其何所本但知其意在山水  
之間耳蓋予之詩多以山水為題亦不知其何所本